

絶景世界一周

》まだ見たことのない景色を探して。

価格
680円
+税

世界の絶景

57

死ぬまでに一度は行きたい、
世界の絶景・秘境を
集めました!!

Chapter

3 AFRICA

- » アフリカ・絶景マップ → 071
- 01 フェズの街並み/モロッコ → 072
- 02 シティ・ブ・サイドの街並み/チュニジア → 074
- 03 カイロの街並み/エジプト → 076
- 04 セーシェル諸島/セーシェル → 080
- 05 セレンゲティ国立公園/タンザニア → 082
- 06 ナミブ砂漠/ナミビア → 086
- 07 クルーガー国立公園/南アフリカ → 090

- » 中東 & アジア・絶景マップ → 093

- 01 エルサレムの街並み
/イスラエル・パレスチナ → 094
- 02 イマーム広場/イラン → 096
- 03 サマルカンドの街並み/ウズベキスタン → 098
- 04 チトワン国立公園/ネパール → 100
- 05 ムンナルの紅茶畑/インド → 101
- 06 コモド島/インドネシア → 102
- 07 シンガポールの夜景/シンガポール → 103

Chapter

5 OCEANIA & ANTARCTIC

- » オセアニア & 南極・絶景マップ → 117
- 01 ゴールドコースト/オーストラリア → 118
- 02 グレート・オーシャン・ロード/オーストラリア → 120
- 03 シドニーの夜景/オーストラリア → 121
- 04 ニュージーランドの牧畜風景/ニュージーランド → 122
- 05 南極大陸 → 124

Chapter

4 MIDDLE EAST & ASIA

- 08 アユタヤ遺跡/タイ → 104
- 09 ボホール島/フィリピン → 106
- 10 華山/中国 → 107
- 11 紫禁城/中国 → 108
- 12 西塘の街並み/中国 → 110
- 13 武陵源/中国 → 111
- 14 ゴビ砂漠/中国・モンゴル → 112

CONTENTS

Chapter

1 SOUTH & NORTH AMERICA

- » 南北アメリカ・絶景マップ → 005
- 01 アンテロープ・キャニオン/アメリカ → 006
- 02 グレーシャー国立公園/アメリカ → 010
- 03 ザイオン国立公園/アメリカ → 012
- 04 ブライス・キャニオン国立公園/アメリカ → 014
- 05 フライガイザー/アメリカ → 018
- 06 レーニア山/アメリカ → 019
- 07 ナイアガラの滝/アメリカ・カナダ → 020
- 08 アマゾン川/ブラジル・ペルー・ボリビア・コロンビア・エクアドル → 022
- 09 バルデス半島/アルゼンチン → 026
- 10 ラパスの街並み/ボリビア → 028

- » ヨーロッパ・絶景マップ → 031

- 01 アイスランドの滝/アイスランド → 032
- 02 リーセフィヨルド/ノルウェー → 036
- 03 ラップランド/フィンランド・スウェーデン・ノルウェー・ロシア → 038
- 04 フェロー諸島/デンマーク → 042
- 05 オランダのチューリップ畑
/オランダ → 043
- 06 コッツウォルズ/イギリス → 044
- 07 リンディスファーン島/イギリス → 048
- 08 シェーンブルン宮殿
/オーストリア → 049
- 09 ホーエンツォレルン城/ドイツ → 050
- 10 ハンガリー大平原/ハンガリー → 052

Chapter

2 EUROPE

- 11 コルマルの街並み/フランス → 054
- 12 シュノンソー城/フランス → 055
- 13 プロヴァンスのラベンダー畑
/フランス → 056
- 14 マヨルカ島/スペイン → 058
- 15 ベレンの塔/ポルトガル → 060
- 16 ヴェローナの街並み/イタリア → 061
- 17 プロチダ島/イタリア → 062
- 18 サンマリノの街並み
/サンマリノ → 064
- 19 ザキントス島/ギリシャ → 066
- 20 コトルの街並み/モンテネグロ → 068
- 21 聖ワシリイ大聖堂/ロシア → 069



上/まるで波のような岩の造形が印象的なキャニオン内部。時間とともに変化する美しい色彩も見逃さない。下/アンテロープ・キャニオン内を撮影する観光客とガイド。

アメリカ南西部、アリゾナ州ページ近郊に位置するアンテロープ・キャニオンは、先住民族ナバホ族の居留地にある峡谷で、2つの岩層から成る。1つ目は、観光客に人気のあるアッパー・アンテロープ・キャニオンで、内部は高低差がなく、比較的訪れやすい。2つ目は、散策は難しいが見ごたえのあるロウワー・アンテロープ・キャニオン。足場が悪く狭い場所も多いが、それゆえ場所によってはさまざまな光景を楽しむことができる。

峡谷はもともと、ロッキー山脈が隆起した際にできたコロラド台地の一部だったが、鉄砲水などで柔らかい砂岩が浸食されたことで、現在の流れるような岩の景観が形成された。周辺一帯は砂漠気候のため、ほぼ1年中乾燥しているが、モンスーン(季節風)の時期に降るスコールは瞬時に鉄砲水となり、より狭い通路へと加速しながら岩を削っていく。そのため、峡谷内の景観は今も変化し続けている。かつてナバホ族は、この狭い峡谷でアンテロープ(峡谷名の由来となったウシ科の動物)や家畜の放牧を行っていたほか、冬季のシエラターとして利用していたという。

角度によって変化する色彩



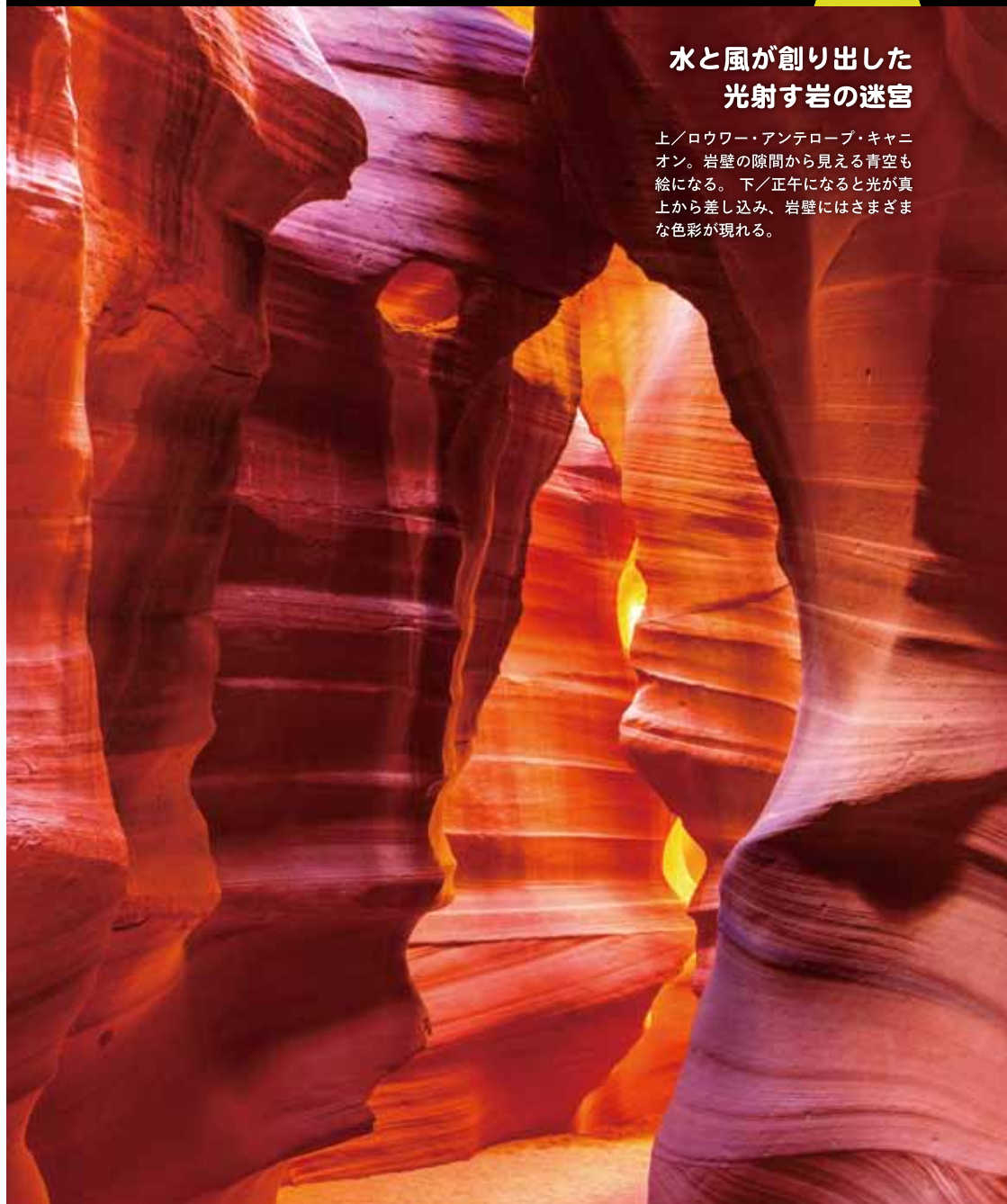
Antelope Canyon 01

アンテロープ・キャニオン

アメリカ

水と風が創り出した 光射す岩の迷宮

上/ロウワー・アンテロープ・キャニオン。岩壁の隙間から見える青空も絵になる。下/正午になると光が真上から差し込み、岩壁にはさまざまな色彩が現れる。



》 アクセス



ラスベガスから車で4時間半～5時間。近郊のページや現地でもガイド付きツアーに参加。



》 ベストシーズン

4月～9月
(午前11時半～正午頃)

》 アクティビティ

アンテロープ・キャニオンに入れるのは許可を受けたツアー会社のみ。鉄砲水などの危険を避けるためにも、必ずガイド付きツアーに参加しよう。撮影ポイントなども教えてくれる。

写真／頭上からスポットライトのように日光が差し込む神秘的な光景。晴天の日に太陽が空の頂点に来る時間帯に訪れると、見ることができる。



上／水の流れをそのままかたどったような、アンテロープ・キャニオンの波打つ岩壁と、美しい光のグラデーション。下右／ロウワー・アンテロープ・キャニオンへと続く鉄製の階段。比較的訪れやすいアッパーとは違い、ロウワーは険しい道のりが多いが、その分絶景ポイントも多い。下左／峡谷上部にたまった砂がサラサラと流れ落ちる様子は、まるで滝のよう。



上/コバルトブルーの湖水をたたえるアバランチ湖。対岸にそびえる険しい山々が、湖面に逆さに映り込む様子は特筆もの。下/グレイシャーのシンボルであるマウンテンゴートの親子。夏季の方が遭遇率は高い。

上/コバルトブルーの湖水をたたえるアバランチ湖。対岸にそびえる険しい山々が、湖面に逆さに映り込む様子は特筆もの。下/グレイシャーのシンボルであるマウンテンゴートの親子。夏季の方が遭遇率は高い。

アメリカ北西部、モンタナ州に位置するグレイシャー国立公園。総面積は約4100平方キロにも及び、そのほとんどが森林、山、湖である。また、ロッキー山脈の真ん中にあり、氷河に削られた険しい山容と、その合間に点在する湖が織り成す美しい景観から、「氷河が造った美術館」とも称されている。

園内には絶滅危惧種のグリズリー（ハイイログマ）やカナダオオヤマネコのほか、グレイシャー国立公園のシンボルであるマウンテンゴートや、アメリカの国章にも描かれているハクトウウシなど、数多くの野生動物が生息している。今もなお豊かな自然と生態系が残る貴重な場所として、国境を接するカナダ側のウオータートン・レイク国立公園と共に、1976年にユネスコの生物圏保護区に、1995年に世界遺産に登録された。

おすすめは、1932年に完成した「ゴイニング・トウ・ザ・サン・ロード（太陽への道）」この道路沿いには、マクドナルド湖、アバランチ湖、ローガン・パス、セントメリー湖などの見所が並んでおり、素晴らしい景色を眺めながらドライブを楽しむことができる。

険しい山肌と湖のコントラスト

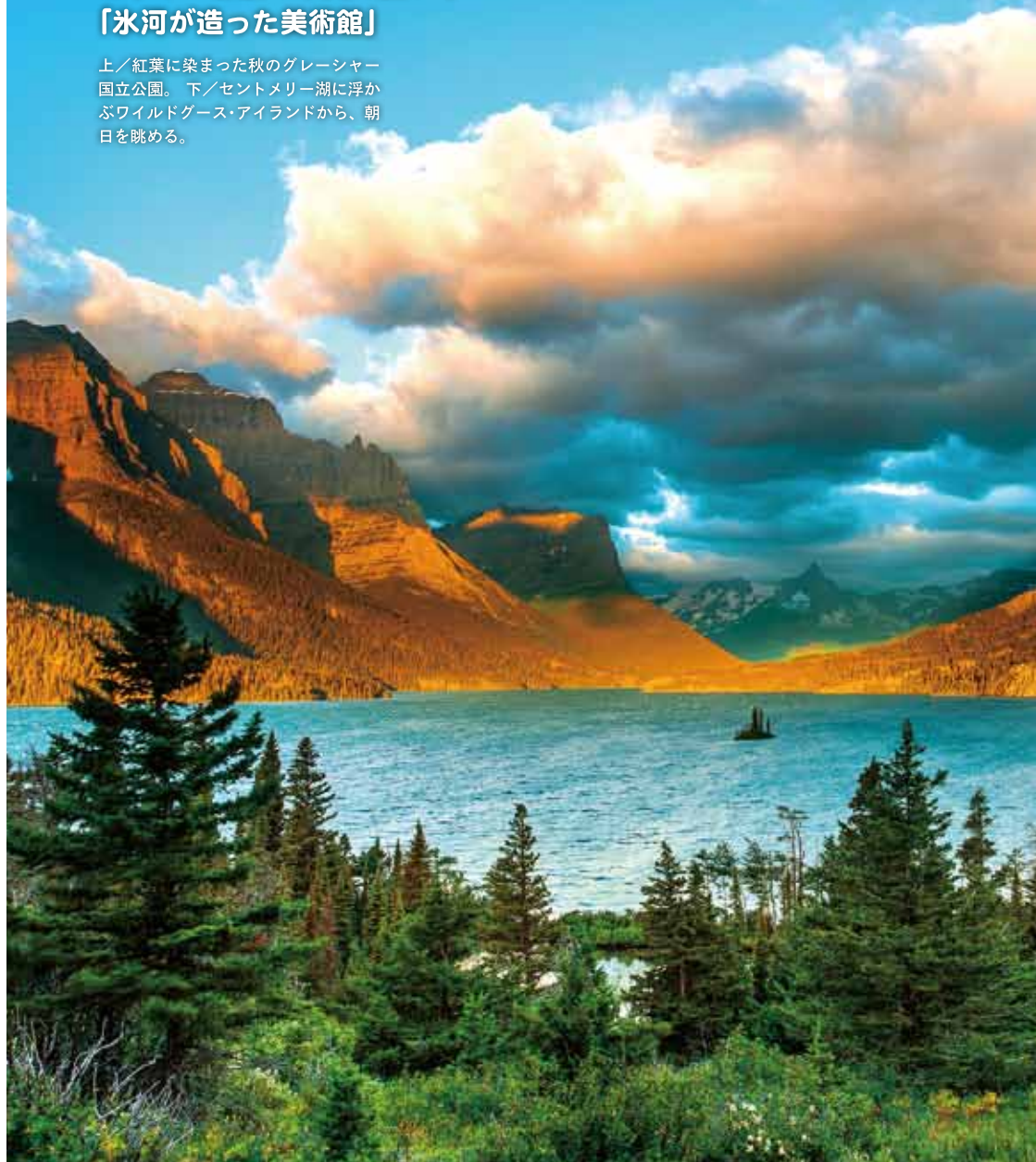


Glacier National Park 02 グレイシャー国立公園

アメリカ

ロッキー山脈の中央に広がる 「氷河が造った美術館」

上/紅葉に染まった秋のグレイシャー国立公園。下/セントメリー湖に浮かぶワイルドグース・アイランドから、朝日を眺める。



アクセス



グレイシャー国立公園国際空港(カリスベル空港)から車で約40分。

ベストシーズン

6月~9月

アクティビティ

夏は、ラフティングツアーや園内でのキャンプが人気。特に、700以上もあるトレイルを歩くハイキングは、初心者から上級者まで多彩なコースが揃っている。





上／まるで人間の恋人同士のように寄り添うマゼランペンギン。間近で観察できるが、人間が触ると匂いが付いて巣に帰れなくなってしまうため、触るのは厳禁。下／ミナミセミクジラ。クジラが吹いた潮に虹が架かっている。

動物の姿を間近で観察できる場所

アルゼンチン南部のチュブ州に位置するバルデス半島は、パタゴニア地方最大の動物天国として知られる場所だ。この半島は、幅わずか5キロほどの陸地で南アメリカ大陸とながっており、大西洋に面して入り組んだ地形が、独自の生物相を生み出した。そのため、ここで観察できる動物の多くが固有種であり、絶滅危惧種も多く含まれることから、1999年に世界遺産に登録された。

半島の北部にはサン・マティアス湾が、南部にはヌエボ湾がそれぞれあり、この2つが主要な湾となっている。半島の周囲には未舗装の道が通っており、海岸ではゾウアザラシ、オタリア、ペンギンといった鱗脚類や鳥類を、湾内ではクジラやシャチなどの鯨類を間近で観察できる。なかでも、シャチが海岸に体を乗り上げて、水しぶきを高く上げながらオタリアを襲う光景は迫力満点だ。

また、草原地帯ではラクダの仲間であるゲアナコや大型の陸鳥であるレアといったユニークな動物のほか、ポイロンなどのトゲを持った植物や、キリンバイと呼ばれるキク科の固有種が生息している。

》 アクセス

アルゼンチン
バルデス半島

ブエノスアイレスからトレレウ空港まで飛行機で約2時間、空港からバスで約1時間。



》 ベストシーズン
9月～12月

》 アクティビティ
毎年5～12月、ヌエボ湾とサン・ホセ湾にはミナミセミクジラが繁殖のために集まる。観光クルーズ船からは、オスたちが繰り広げるメスの求愛パレードを見ることができる。

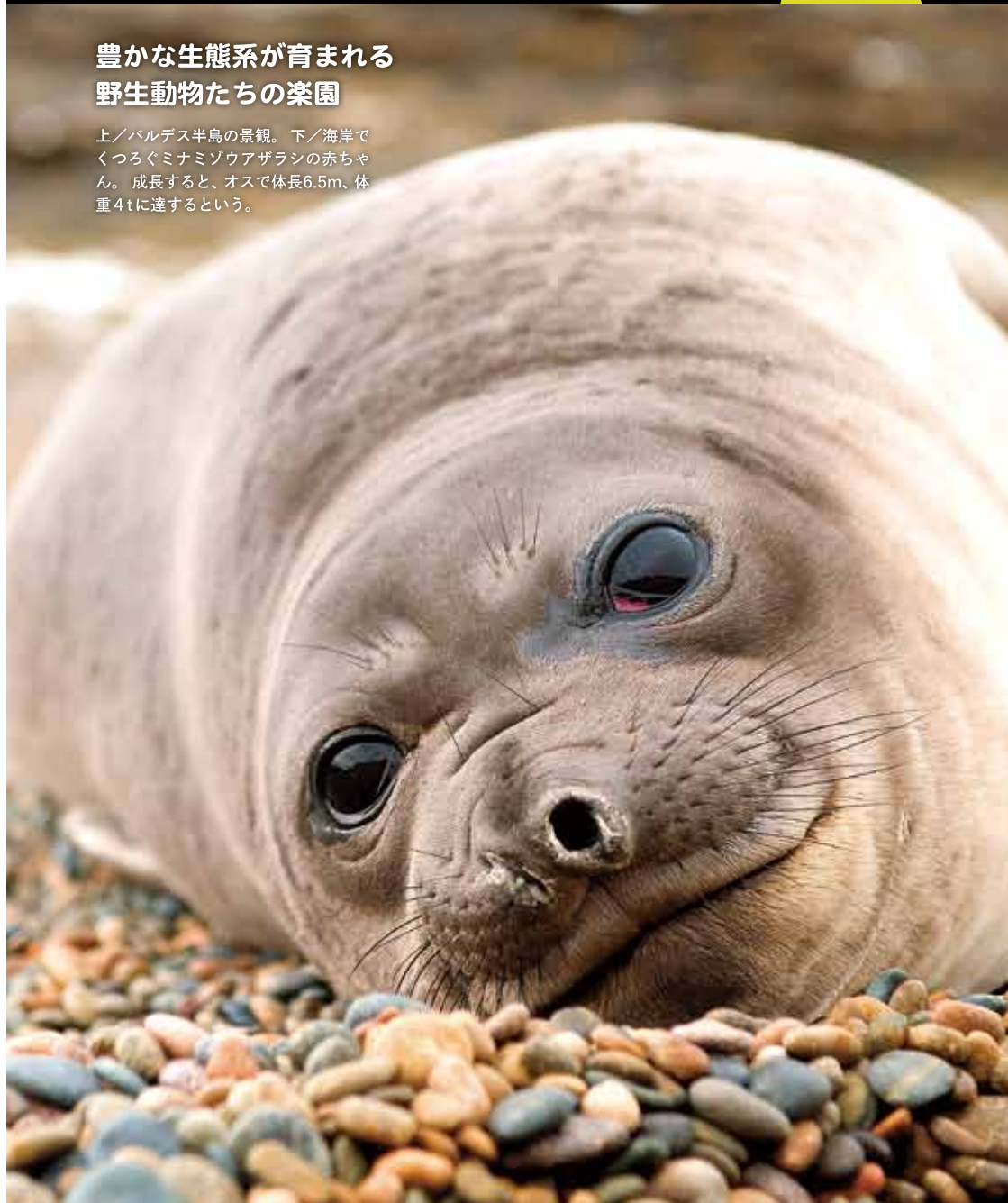


Península Valdés 09
バルデス半島

アルゼンチン

豊かな生態系が育まれる
野生動物たちの楽園

上／バルデス半島の景観。下／海岸でくつろぐミナミゾウアザラシの赤ちゃん。成長すると、オスで体長6.5m、体重4tに達するという。





上／小高い山の頂上にそびえるホーエンツォレルン城。城内からは、周囲に広がるシュヴァーベン地方の田園風景を一望できる。下／ツォラーシュタイクホフホテルの上にある展望場所から、城を望む。

円錐形の山頂にたたずむ姿は、遠くから眺めるだけでも十分美しいが、特に山全体が霧に包まれた時に現れる、まるで天空に浮かんでいるかのような幻想的な姿は、「天空の城」と呼ぶにふさわしい。

なお、城の敷地内にある礼拝堂では、結婚式を挙げることも可能。由緒あるドイツ三大名城で、永遠の愛を誓ってみては。

名門ホーエンツォレルン家の城

ドイツ南部、田園地帯のなかにそびえる標高約900メートルのシュヴァーベン高原。その山頂に建つホーエンツォレルン城は、ドイツ皇帝やルーマニア国王を輩出した名門一族、ホーエンツォレルン家発祥の地の城として、11世紀に創建された。以来、数々の戦の舞台となり、1423年には完全に破壊されるが、その後すぐに再建され、17世紀の30年戦争では要塞としても利用された。しかし、ドイツがまとまるにつれてこの城の重要性は薄れ、徐々に廃墟となっていった。

現存する城は、フリードリヒ・ヴィルヘルム4世がプロイセン王になる前の皇太子だった時に再建を決め、没後の1867年に完成したものである。



Hohenzollern Castle 09

ホーエンツォレルン城

ドイツ



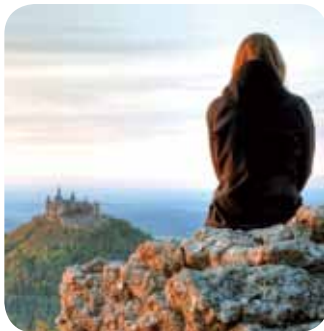
山頂にそびえる 幻想的な「天空の城」

上／金色の天井や豪華なシャンデリア、大理石の列柱で彩られた「伯爵の大広間」。下／霧が発生した時だけ見ることができる、空に浮かんでいるかのような幻想的な姿。

》 アクセス



シュトゥットガルトからチュービンゲンを経由し、ヘッピンゲン駅まで列車で約1時間半、駅からタクシーで約15分。



》 ベストシーズン

6月～8月

》 アクティビティ

城の近くにあるツォラーシュタイクホフというホテルの駐車場から、2kmほどハイキングコースを登れば、頂上からはホーエンツォレルン城の全景を望むことができる。



上／ナヴァイオ海岸の砂浜に残された難破船「パナギオティス号」。観光客は自由に見学できる。下／ザキントス島の見所のひとつである青の洞窟への入り口。内部は神秘的な青色の世界が広がっている。

ギリシャ西部のイオニア海に浮かぶザキントス島。「ザキントス」とは、ギリシャ神話に登場するダルダノスの子ども名前に由来しており、新石器時代にはすでに人が暮らしていたと考えられている。その後、ヴェネツィア共和国、イタリヤ諸侯、オスマン帝国、フランス第一帝政、ロシア帝国、イギリスと、めまぐるしく宗主国が変わった末、1864年にギリシャに統一された。

ザキントス島の美しさは、かつてヴェネツィア人から「東方の花」とうたわれたほどで、現在もヨーロッパを中心に、数多くの観光客が訪れるリゾート地として知られる。

最大の見所は、島の北西部に位置するナヴァイオ海岸。断崖絶壁に囲まれた真っ白いビーチに難破船がぼつりとたたずむ景観から、別名「Shipwreck Beach（難破船海岸）」とも呼ばれる。この難破船「パナギオティス号」は、1980年頃にトルコからタバコを密輸していた際、ギリシャ海軍に追われてこの海岸に乗り上げてしまい、乗組員たちに置き去りにされたものだという。周囲の崖の上には展望台があり、ビーチと海を見渡すことができる。

「東方の花」とうたわれた美しい島

▶▶ アクセス

アテネからバスで約6時間（途中キリニ港でフェリーに乗船する）。



▶▶ ベストシーズン
5月～10月

▶▶ アクティビティ
ナヴァイオ海岸へは海からのアクセスのみ。そのため、ボートクルーズへの参加がおすすめだ。周囲の見所にも行けるほか、波の状態が良ければビーチにも上陸できる。



Zakynthos 19 ザキントス島

ギリシャ

コバルトブルーの海に浮かぶ 難破船が眠る秘密のビーチ

上／ザキントス島の南に浮かぶ離れ小島アギオス・ソステイスと、本島を結ぶ橋。下／難破船が朽ちるままに残るナヴァイオ海岸。スタジオジブリのアニメ映画「紅の豚」に登場する、主人公ポルコの隠れ家そっくりだ。





Saint Basil's Cathedral **21**
 聖ワシリイ大聖堂

ロシア

9つのタマネギ型ドーム

ロシアの首都モスクワの中心部に位置する赤の広場。激動のロシア史を見続けてきたこの広場に建つ聖ワシリイ大聖堂は、「雷帝」の異名で恐れられた暴君、イヴァン4世により、イスラム王朝カザン・ハン国に対する戦勝を記念して、16世紀半ばに建立されたロシア正教の大聖堂だ。ロシアの聖堂で最も美しい建物のひとつと称されており、1990年には、「モスクワのクレムリンと赤の広場」として世界遺産に登録された。

中央の主聖堂を8つの小聖堂が取り囲み、それぞれデザインが異なるタマネギ型のドームを頂いている。なお、大聖堂を特徴付ける鮮やかな彩色は、完成から時を経た17〜19世紀に施されたものだ。

上/聖ワシリイ大聖堂のドーム。すべてデザインが異なるが、不思議と調和している。下/ロシア語で「美しい広場」を意味する赤の広場の冬景色。手前には聖ワシリイ大聖堂が、奥にはロシア最大級のデパートであるグム百貨店が建つ。

アクセス



地下鉄ブローシャチ・レボリユーツィ駅またはオホトニ・リヤトから徒歩2〜3分。

ベストシーズン

6月〜8月

アクティビティ

赤の広場には、大聖堂以外にも旧ロシア帝国の宮殿クレムリンやグム百貨店、国立歴史博物館などがあり、丸1日観光を楽しめる。

世界有数の美しさを誇る
 極彩色に彩られた大聖堂



Townscape of Kotor **20**
 コトルの街並み

モンテネグロ

コトル湾の奥深くに築かれた
 中世の要塞都市



上/コトル湾に浮かぶセント・ジョージ島。島の修道院には修道僧しか上陸することができないが、隣の島の聖マリア教会には一般人も上陸できる。下/街の背後にそびえる岩山から、コトル湾とコトルの街並みを望む。

岩山と城塞に守られた街

モンテネグロ南西部、アドリア海が陸地に入り込み、フィヨルドのように複雑な入り江を形成しているコトル湾。その最奥に位置するコトルは、起源を紀元前に持つという歴史ある街で、中世にはヴェネツィア共和国領として繁栄した。

周囲をヴェネツィア領時代の城壁に囲まれた街には、石畳の路地に沿って12〜14世紀頃の建造物が立ち並ぶ。また、カトリックとギリシャ正教の文化圏が重なる場所に位置することから、街に双方の教会が混在しているのも大きな特徴だ。20世紀には地震や内戦で大きな被害を受けたコトルだが、徐々に復興が進み、1979年に世界遺産に登録された後、2003年に拡大登録された。

アクセス



ドゥブロヴニク(クロアチア)からバスで約2時間。

ベストシーズン

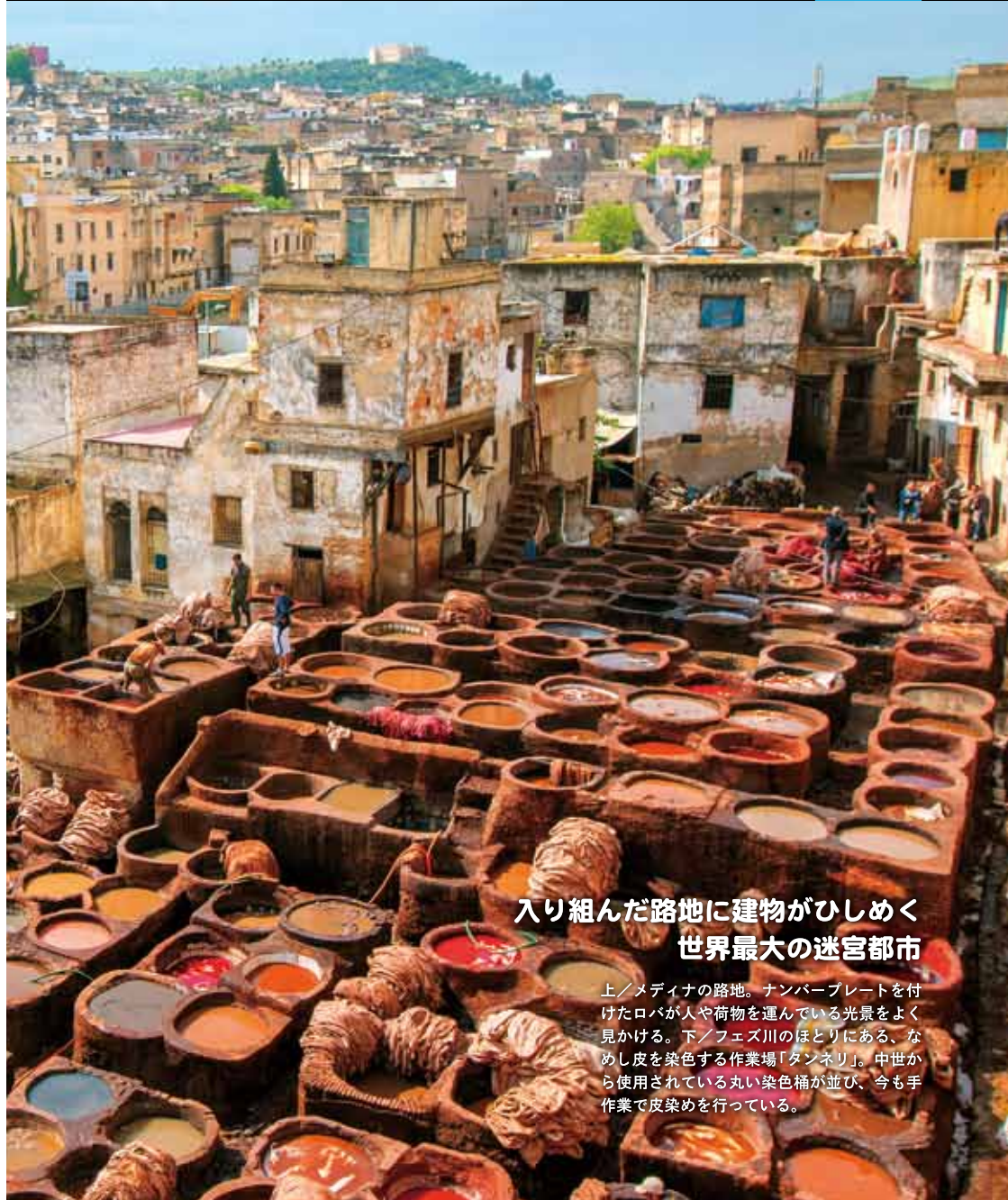
4月〜10月

アクティビティ

コトル湾に並んで浮かぶセント・ジョージ島と岩礁は、見所のひとつ。それぞれ修道院と聖マリア教会が建ち、幻想的な景観を生み出している。

01 Townscape of Fes フェズの街並み

モロッコ



入り組んだ路地に建物がひしめく 世界最大の迷宮都市

上/メディナの路地。ナンバープレートが付けたロバが人や荷物を運んでいる光景をよく見かける。下/フェズ川のほとりにある、なめし皮を染色する作業場「タンネリ」。中世から使用されている丸い染色桶が並び、今も手作業で皮染めを行っている。



上/メディナの西側入り口にあるブー・ジュールド門。中央奥にはカラウィーン・モスクが見える。下/メディナ内の商店に並ぶ木の実やナッツ。味も種類も多種多様で食べ比べに最適だ。

モロッコ最大のイスラム王都

モロッコ北部の内陸都市、フェズ。789年、ベルベル人のムーレイ・イドリス1世によって建設されると、その後はマリーン朝をはじめとするイスラム王朝の首都が置かれた国内最古の王都である。13〜14世紀にかけては宗教、学問、文化、商業の中心地として大いに発展・繁栄した。

なかでも、東西2.2キロ、南北1.2キロの城壁に囲まれた旧市街「メディナ」には、国内最古にして北アフリカ最大規模のカラウィーン・モスクをはじめ、この時代に建設された数多くのモスクやマドラサ（イスラム世界における高等教育施設）などが残されており、1981年には世界遺産に登録された。

メディナ内部は、外敵の侵入を防ぐ目的から狭い路地が複雑に入り組み、建物がひしめき合っている。そのため、フェズは「世界最大の迷宮都市」とも呼ばれ、人がすれ違うのがやっとという狭さの路地には車が進入できず、今もなお昔からの輸送手段であるロバやラバが利用されている。最大の見所は、なめし皮を染色する作業場「タンネリ」。革製品の製作が昔ながらの手作業で行われている。

アクセス



フェズ・サイス空港からタクシーで約30分。または、カサブランカから列車で約3時間半。



ベストシーズン

3月～5月、9月～11月

アクティビティ

たとえ地図があっても必ず迷ってしまうフェズの旧市街。日本語を話せるガイドもいるので、観光の際はできるだけガイドを頼もう。容引きや物売りが寄って来ないという意味でも安心だ。



上/ゾウの群れ。ゾウたちは基本的に子どもを守るように取り囲み、家族やグループ単位で行動する。下/気球に乗ってのパルーン・サファリは、地上からは見ることのできない絶景を楽しめる。

タンザニア北部、ケニアとの国境近くに位置するセレンゲティ国立公園。マサイ語で「果てしなく広がる平原」を意味する名前の通り、1万4763平方キロという広大なサバンナに、ライオン、チーター、ヒョウ、ゾウ、バッファロー、キリン、シマウマなど、約300万頭の野生動物が生息しており、1981年に世界遺産に登録された。また、南東にはゴロンゴロ保全地域が隣接しており、マサイ族の人々が動物と共存しながら生活している。

ここで最も有名なイベントが、約150万頭のヌーがエサとなる植物を求めて移動する、「グレート・マイグレーション」。毎年11〜1月、ケニアのマサイ・マラ国立保護区に散在していたヌーやシマウマ、ガゼルなどの草食動物たちは、乾季の訪れとともにセレンゲティを目指し、1500キロの長旅へと出発する。彼らを追って来るライオン、チーター、ヒョウなどの肉食動物や、マラ川で待ち受けるワニから逃れた者だけが、ようやくこの地にたどり着く。そして5〜6月、セレンゲティが乾季を迎える頃、再びマサイ・マラへと出発するのだ。

繰り返される生命のサイクル



Serengeti National Park 05 セレンゲティ国立公園

タンザニア

「果てしなく広がる平原」を覆い尽くす 150万頭のヌーの大移動

上/サバンナの夕日とシマウマの群れ。一見すると派手に思えるシマウマの体色は、サバンナでは保護色となる。下/大草原を埋め尽くすヌーの大群。



▶▶ アクセス

セレンゲティ国立公園
タンザニア

キリマンジャロ国際空港からアルーシャまでバスで約1時間、そこからセロネラまでセーナで約1時間。



▶▶ ベストシーズン
11月～2月

▶▶ アクティビティ

おすすめは、気球に乗ってサファリを楽しむパルーン・サファリ。車とは違い、大草原や動物たちの営みを空から一望できる。サファリの後、サバンナで味わうシャンパンは格別だ。



絶景世界一周

まだ見たことのない景色を探して。

2015年5月27日 第1刷発行

発行所 株式会社ファミマ・ドット・コム
〒170-6012
東京都豊島区東池袋 3-1-1
サンシャイン 60 12F

発行人 武井誠(株式会社エディング)

企画・編集 株式会社エディング

編集スタッフ 谷伸子・乙原優子・多田あゆみ

デザイン 谷伸子

写真 Shutterstock

制作・著作 株式会社エディング
〒162-0811
東京都新宿区水道町2-14 柴木ビル2F

印刷所 株式会社 ツーネット

【この本に関するお問い合わせ先】

【電話の場合】

- 本書の内容については
03-5228-3951(株式会社エディング 出版編集部)
- 在庫、不良品(落丁、乱丁)については
03-5958-3817(株式会社ファミマ・ドット・コム)

【文書による本書内容のお問い合わせの場合】

株式会社エディング 出版編集部
〒162-0811
東京都新宿区水道町 2-14 柴木ビル 2F 『絶景世界一周』係

- 株式会社ファミマ・ドット・コムの情報
右記をご覧ください → <http://www.famima.com/>
<http://www.pub-famima.com/>

© famima.com 2015 Printed in Japan

- ・ 本書の内容、写真などの転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。
- ・ 本書を購入いただいたお客様ご本人あるいは第三者に依頼して、デジタル化することは、個人や家庭内の利用でも著作権法により認められておりません。



写真/ニュージーランドの牧畜風景。